

ならやま支部便り

第百八十九号十一月号 令和5年11月1日(水)

十一月(霜月) November

三日(金) 文化の日(明治節)

八日(水) 立冬

十三日(月) ●新月

二十二日(水) 小雪

二十三日(木) 勤労感謝の日(新嘗祭)

二十七日(月) ○満月

今月の作品 ステンドグラス柵のリース 木村怡音



「古今和歌集 巻第七 賀歌」

よみ人知らず

三四三 我が君は 千代に八千代に

さざれ石の

巖となりて 苔のむすまで

「あなた様の寿命は、千代も八千代も、小石が大
きな岩になり苔が生えるようになるまで、い
つまでも末永く続いて欲しいものです。」
(注)「君」は敬愛する相手をさす。「代」は人
代の寿命の長さ。

十一月のスケジュール

四日(土) 本部指導局 10時半 本部

五日(日) 哲昌会創立七十周年記念大会

六日(月) 少壮チャリテイリーハーサル

九日(木) 漢詩教室 西部公

十日(金) ならやま支部役員会 13時道場

十二日(日) 全国新人中間層競吟大会

十五日(水) ならやま水墨画教室 道場13時半

十七日(金) 菖友会 18時半 西部公

十八日(土) 第9期東明末塾 本部

十九日(日) 本部研修会(師範・準師範・師範代)

二十三(木) 昇格課題詩研修

哲友会臨時役員会

キアリエホール

碑前祭並びに会員忘年吟詠会

事務局より

☆愛連一部 審査員池田黎

☆役員会 池田黎 北岡 長野 古川 山本、

内山

☆哲事務局会議 池田黎 長野 山本

☆まほろば円舞会打合せ 池田黎

☆ポリドール全国吟詠会決選大会

審査池田黎 司会大山 接待長野

☆近畿地区連絡協議会 池田黎

☆哲漢詩教室 山本 内山

☆奈良県総連代表理事会 池田黎

☆奈良県総連審査員講習会 池田黎

☆水墨画教室 峯田 池田黎 北岡他2名

☆哲昇段審査会 総括池田黎

初段吉田禮(テープ審査)、河野

二段北 伊豆 三谷(テープ審査)

全員合格 おめでとう御座います

☆本部理事会 zoom 参加池田黎

☆近畿少壮チャリテイリーハ 池田黎

☆八木菖台名誉会長お通夜 池田黎

北岡 山本

☆八木菖台名誉会長告別式 池田黎、北岡

☆総本部90周年前日準備&ゲネプロ

池田黎 北岡 大山 長野

☆総本部90周年記念大会

司会池田黎 大山 弁当係長野

参加:北岡 三島 山本 内山 松岡 山中

木村 廣瀬 河野

☆同祝宴 司会池田黎 参加北岡

学びのコーナー

子曰、辞達而已矣。

(衛霊公篇十五―四一)

子曰く、辞は達するのみ。

(訳文)

老先生の教え。文章を書くなら、達意であれ。

【参考】 大事な論語のことばです。少し講釈しま

す。

漢字は象形文字です(常識ですよ)。一定の概念が充填され、それを表現したものが漢字です。中国の文章は概念語以外の助字(也、則など)は付属的で、概念語を直截的に伝えるのが中国の文章の本質かつ特色なのです。

その特色を備えた文体の代表が中国の詩文なのです。概念語を並べるだけでイメージを作り出すことができます。

論語の文章は中国の文章の本質をとらえたものなのです。だから我々も短い論語の文章から内容を的確に把握し、一度聴いたら忘れられない印象を持つのです。

今月のお誕生日コーナー



宮崎圭子さん (寿美伶火)
おめでとーございませう。

作詩部より

世の中の さらぬ別れと 知りながら
山本貴菅

止むる 柵 しがらみ
なまげぞ悲しき

各教室より

「久しぶりのステージ」

KOKO木曜 池田玉莖

友人のパーティーのオープンニングで、詩吟(宝船を詠う機会を頂きました。)

続いてタケルさんと、マナマさんのコラボ。でした。



「ツバメ堂再訪」

皆さんお元気で
した 十月二十
一日(土) ツバ
メ堂行ってきま
した。

KOKO木曜

小林しげき



「会員吟詠合同練習」

10月22日(金) 70周年合同練習

平松教室

峯田眞登

秋田酒屋唄を久し振りに歌って……早朝の辛い仕事を歌った仕事歌ですので、その感情出すのが難しかったです。

「昇段試験を終えて」

KOKO桜

伊豆澄子

十月二十日の二段の昇段試験にお陰様で合格する事が出来ました。

御指導してくださりました池田先生、何時も励ましてくださる長野先生、「大丈夫、大丈夫よ」と背中を指すつてくださりました登美ヶ丘の田中先生。諸先輩の皆さまありがとうございました。昨年がとうございました。昨年は緊張で教本を持つ手が震え、何が何だか解らないうちに終わってしまいました。今年は途中から声が上がったり息切れしましたが、少しは前回よりは、まさに吟じられたように感じます。



人前が苦手な私には、しんどい部分もございませうが、経験を積みながらステップアップ出来たらと思っております。全員が合格でき本当に良かったと思います。ありがとうございます。

「昇段試験に参加して」

KOKO桜

河野若菜

10月20日に、中部公民館で行われた令和5年度の昇段試験にこの度初めて参加致しました。

昨年の11月に入会した私は、受験資格が無いものだと思いきや、今年に入り改めていたところ、1ヶ月前に受験資格があるとわかり、大慌て！吟題を熟考する間もなく、1番初めに習った『江南春望』で受験する事になりました。

当日は、想像以上の至近距離に審査員の先生方

が、いらつしやつた為、圧倒されそうになり何が
何だか分からないうちに自分の番は終わってしま
いました。席に戻り他
の受験生の方々の吟や口
頭試問を聞きながら、池
田先生が教室で教えて下
さった、教本の美しい持
ち方や口頭試問での言葉
遣いが、とても大切な事
であると感じました。

先生の細やかなご指導

のおかげで初段に合格する事ができ本当にありが
とうございました。



「頑張つて昇段試験受けました」

KOKO金 吉田禮子

あの世に近づく年になり、初めて「詩吟」を知り
「池田教室」に入りました。

初めてのことですから難しいことだらけなのです
が、教室の和やかな雰囲気になり、少女時代を思
い出しながら詩吟を楽しんできました。あつと言
うまに3年たち「昇段試験」だそうです。

私は昇段しなくてもよいのですが、先生や他の方
に申し訳ないので受験し
て合格となりました。

できるだけ永く「詩吟教
室」でぼつぼつでも腕を
あげたいと思います。

「昇段試験を傍聴して」

あげは教室 山本賞倉

令和5年度の昇段審査会(昇段試験)が10月20
日(金) 中部公民館2階で実施されました。



総括責任者は池田会長、審査長は山本(曜)先生、
審査員は松田先生、植田先生、小西先生。
初段・2段の口頭試問は審査長が、3段の口頭試
問は梶田先生が別室の3階で審査されました。

初段の受験者は全員で5人、その内ならやま支
部からは吉田禮子さん(テープ審査)と河野若菜
さんの二人でした。

2段の部も全員で5人受験し、ならやまは伊豆澄
子さん、北良夫さん、三谷優莉さん(テープ審査)
でした。

3段の部は全員で3人受験しました。ならやまは
該当者なしでした。

14時半 池田会長の挨拶から始まり、山本(曜)審
査長による審査結果発表の後、15時50分池田先
生の吟の講評を経て、梶田先生の口頭試問の内容
と講評を経て、予定時刻の16時30分より少し前
に全て終了しました。

全員合格の素晴らしい結果でした。お目出どう御
座居ます。

伊豆さんと北さんは来年3段に合格すれば、雅
号を頂けます。大きな節目をクリアするという
ことです。いい成績で合格するよう、今から吟と
口頭試問用の詩の構造についてもしっかり勉強し
て下さい。池田先生がお経の様に構造が言えるよ
うになるまで、徹底的にしごくはずです。

話変わって受験者一覧表を見てみると、初段・
2段の方の吟題はバラエティーに富んでいるのに、
3段の方の受験吟題は同じでした。同じ支部の人
が同時に受験する場合は、同じ吟題にするのはよ
くある事ですが、受験者の支部が違うのに偶然吟
題が同じになったのは珍しい現象だと思いました。

【会場風景写真】



〔采年度の抽選吟〕

参段用 新Aその二の教本から

A2-40(A9-2)

「嵐山雨景」 篠崎小竹

A2-29(A4-2)

「望海」 藤井竹外

A2-44(A11-3)

「城山」 西道仙

A2-48(A13-3)

「太田道灌」 愛敬四山

A2-45(A12-2)

「大楠公」 徳川斉昭

四段用 新Aその二の教本から

A2-74(A25-1)

「晩秋弄晴」 宮崎東明

A2-64 (A21-2)

「遊洞庭湖」

李白

A2-56 (A17-2)

「吊楠公墓」

杉孫七郎

A2-76 (A65-2)

「両英雄」

徳富蘇峰

A2-79 (A66-2)

「獄中作」

武市半平太

「十月の催し二題について思う」

KOKO金 北良夫

十月七日から三日間、山口市で開催された第十四回日本マスターズ陸上競技選手権大会に出場コロナ禍で3年中止されていて、久しぶりの大会であった。M90(90〜94歳)クラスでの全国大会の出場これが初めて。走り幅跳びには他に出場者がなく一位、100mには日本記録保持者の青森の選手がエントリーしていたが不参加、一クラス上のM95(95〜99歳)で世界記録保持者の亀濱敏夫(97歳・沖繩)選手と二人のレースとなった。年齢差が6歳もあるので負けることはなかったが、亀濱選手はマスターズ陸上競技界の人気者、スターである。レースには観覧席から大きな拍手声援が贈られてこちらも励みになった。成績はクラスが異なるのでどちらも一位で金メダルに浴した。



3日間の大会が終わって、帰宅後の翌日からこれまで経験したことのない体調異常に見舞われ、10月20日開催の、詩吟昇段試験への参加が気

にかかる焦る日が続き、ひたすら静養に努めた。当日には何とか回復して出場ができた。無事吟じ終わって審査の先生から「この吟題はどうして選ばれましたか」と問われ、想定外の質問に慌てて「直感です」と答えた。先生は怪訝な回答に「直感？」と問い返され、直感の意味を説明してほしい様子であったが、時間も迫っていたのでそこで終わってしまった。



咄嗟に出た「直感」は日常でも時々使っている言葉。その中身についてはそれほど深く考えていなかった。帰宅後改めて「直感」の答えを探した。最近では便利なスマートフォンがあり開いて検索、なんと驚くほどに丁寧な回答が大量に記載されていた。今回自分が使った「直感」とは何だったのか、理由が説明できない単なる思い付きだったのか、それとも正しく対応のできる時間がなかったことによる回答がこれだったのか、詩を吟ずる場で詩吟以前の課題を学んだ昇段試験の場であった。

「月音の初めての運動会」

10月7日 吉野の保育園へ母と一緒に早朝車で家を出ました。

吉野までは、約90分。遠く感じなくなったツバメ

堂(笑)

奈良市内にくらべたら2〜3度気温が低いので、母に



池田眞梨

はすっかり着込んで貰いました。でも、昼近くには気温も上がり、帰宅したら日焼けした跡が：5人ずつのかけっこもおかげ様で一等賞。めでたしめでたしの1日でした。

「京都でのコンサート」 あげは教室 山本貴尊

10月1日(日) ロームシアター(旧京都第一会館)でコパケンこと小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートに行きました。曲目はベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」ピアノは最年少で日コン優勝、デビュー当時から「美しすぎるピアニスト」として話題となった仲道郁代さんです。容貌未だ衰えずでした。2曲目がブラームスの交響曲第1番です。素晴らしいプログラムです。

コパケンの指揮は安心できるオーソドックスな曲作りでした。彼は相当長い指揮棒で振ってましたね。あんな長い指揮棒を持った人は珍しいと思います。

仲道さんのステージドレスは薄緑の綺麗なロングドレスに同じ薄緑のベールの様な薄さの裾まで届く長いガウンを羽織ってました。目を引きましたね。女性はステージ衣装が特に大事ですよ。

曲はまさしく「皇帝」という副題をもつにふさわしいピアノコンチェルトの名曲です。

第一楽章の冒頭は、誰もが聞いたことがあると思います。仲道さんの演奏は、美しい2楽章からアタツカで3楽章に続き素晴らしい演奏を聞かせてくれました。名演奏に感激しました。それに、際立って美しい姿勢でピアノを弾いてました。それがまたなんと絵のように美しいことか！この名演奏を台無しにしたのは、ホルン奏者です。

下手くそです。残念。続いて簡単なトークがあり、アンコールがありました。

次は2曲目のブラームスの話です。ベートーヴェンの不滅の9曲に続く第10シンフォニーとも呼ばれています。ベートーヴェンの不滅の交響曲に負けない名曲を作りたいと、構想を練って完成に至るまで何と21年も費やしたのです。聳え立つ壮麗なゴシック建築のような名曲です。

ブラームスの曲は室内楽のようにソロパートが美しいのが特徴です。第二楽章の終わりにコンサートマスターによるソロがあつて美しさに引き付けられます。第四楽章の初は、アルプスの頂きから聞こえてくるような透明感あふれる美しいメロディがホルンによつて奏でられフルートに引き継ぐ有名な旋律があります。それが全く残念。ホルンが余りにも下手くそで、アルプスの頂きの空気感も透明感・清浄感も無いよんだ、ザラザラした汚い音に幻滅です。生地感覚で例えるなら分かりやすいと思います。絹のような手触りではなく、ドンゴロスです。

ホルンはベートーヴェンの「皇帝」の第二楽章でも音がひっくり返つてました。これがプロだとは情けない。涙がちよちよぎれますよ。しかし、フルートの女性奏者は二人とも上手でした。それで救われましたね。

コバケンの短いトークの後、アンコールは「ダニー・ボーイ」でした。アンコールピースとしては珍しいです、というより初めて聞きました。平和への祈りを込めてでしょうね。

オーケストラ、特に管楽器が上手だったら感動もひとしおだったと思われませんが、ホルンが全く残念、ティンパニーも品なくうるさい、これも残

念。ブラームは難しいですね。

「小山実稚恵ピアノコンサート」

あげは教室 山本貴昌

10月7日(土)大阪フィルハーモニー交響楽団 枚方公演に娘の玲子が招待してくれました。玲子と孫の優莉と私の3人で音楽鑑賞しました。メインはベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」です。ピアノは小山実稚恵さんです。

場所は枚方市総合文化芸術センター 関西医大 大ホールです。いいホールです。

小山実稚恵さんはショパンコンクールで堂々の4位入賞した素晴らしいピアニストです。

ショパンコンクールというと、ピアノを聴いたことがなくても名前は知っているというのは、中村絃子さんですね。

マルタ・アルゲリッチが空前の成績で優勝した時に史上最年少で入賞したピアニストです。

小山実稚恵さんはチャイコフスキーとショパンコンクールの2つの国際コンクールに入賞した唯一の日本人です。

彼女は濃いブルーのステージドレスで登場し、休憩の後の「皇帝」の時はワインレッドのドレスでした。素晴らしいです。よく似合っていました。ステージドレスは大事ですね。

「皇帝」についての感想です。素晴らしいピアノ演奏でした。第一楽章出だしのテンポも音量も私を持つているイメージ、この様に弾いて欲しいというのにピッタリ合いました。

見事なダイナミズムと緩急自在のピアニズムに加えて音色の美しさ、また、アタッカでの3楽章への導入も素晴らしい、フレーズのつながりも私の好みでした。アンコール曲は「エリーゼのために」

でした。

名曲を名演奏で聴くことが出来て大満足でした。玲子もピアノ曲が好きなので、感動のピアノ演奏に対する会話が弾みました。演奏会の後で洒落た会話が出来るというのは本当に楽しいですね。娘はオーケストラの管楽器奏者の寸評もしました。私と同じ感想でした。

「小山実稚恵さんコンサート」

あげは教室 三谷優莉

わたしは、10月7日の土曜日に奈良じいじとママと3人で、枚方市芸術文化センターに小山実稚恵さんのコンサートをききにきました。

コンサートの前半は寝てしまいました。後半の『皇帝』は最後までしっかりとききました。ピアノのメロディーのひびきがとてもきれいでよかったです。

アンコールの『エリーゼのために』は、発表会できくのと全然ちがつてすごいなあと思いました。わたしも今度のピアノコンクールでいい演奏をして、1位を取りたいです。

「総本部90周年の裏方」

池田葛梨

前日準備は13時集合。

母も一緒に、八木先生のご葬儀から同行。

今回私は総合司会の長...
そして、祝宴の司会も...
両日大方、下手の影ナレのマイク近くでスタンバイしました。

各部署の連携が成功の鍵。構成吟のゲネプロが終わり、それから着物を出し、持ち物チェ



ツクしてさー寝ましよだ25時：
当日5時に起き、母は5時半に起きて貰い朝食：
そして着付：母にも少し手伝って貰い、7時過ぎ
出発。渋滞もなく、8時過ぎ到着。
司会のメンバーさんは、決めた範囲をしっかりとこ
まなして下さいました。

俳句の時、前日は、朗詠のみのリハは、上手くい
ってましたが、当日作者が、舞台へ登壇された後
の連絡が不十分で、トップバッターの私は、スタ
ンドマイクが見えず詠う前に慌てたハプニング。

祝宴ではホテル側とカラオケの打合せで時間が
かかり過ぎたかな？

最後の阿波踊りは、最高の盛り上がりでした。食
事もできたんですが、樽酒が飲めなく本当に残念
でした(笑)

母も元気に過ごせて、何よりでした。
役員の皆様、お疲れ様でした。

90周年おめでとう御座いました。

「公益社団法人関西吟詩文化協会創立九十年並
びに公益社団法人設立十二周年記念大会に参加さ
せて頂いて」

水仙教室 三島純菫

場所は尼崎総合文化センター(アルカイックホー
ル)、秋晴れのもと十時より葛藜先生司会のもと開
催されました。

関西吟詩同好会として発足しました。会長は関西
大学教授の藤澤章次郎(黄坡)先生、吟詠の宗師範
は眞子武晴(西洲)先生。発足当時の会員は二百名
くらいでした。年と共に増加し、全国各地に支部
が設立され、昭和十四年には全会員数四万人突破
するまでになった。先の大戦終結によって、GH
Qからの指示を踏まえて会本部により教本の発行

がなされたのが、昭和二十四年四月でA・B・C
という英字をつけA1号でした。

昭和二十四年とは私生まれた年です。

戦争・敗戦という大きな時代変化を受け、昭和
四十八年に文部省文化庁の認可を受けて社団法人
となる。先生方の思いあり。

巻頭言 頭に入れて一言、一言かみしめて唱和し
ていたら、心に沁みることばです。

大合吟「富士山」、幼年吟詠「偶成」ほっとさせ
て頂いた吟でした。

地区連合会会員吟詠、六番奈良地区「かぐや姫」
中西國峰先生、中谷淞苑先生ダ！

あれから五十年にもなる。アポロ宇宙船に乗って
この月にやってきた。やがて私は一人の女性と知
り合い結婚し、待望の赤ちゃんが生まれ「かぐや
姫」と名付けました。私の生まれ育った地球で輝
いてくれるだろう。

和歌「いにしへの」

いにしへの 奈良の都の 八重桜

けふ九重ににほひぬるかな

伊勢大輔

素晴らしい舞台上に立たせて頂いたこと幸せな日
でした。

俳句朗詠、総本部役員吟詠、来賓吟詠、構成吟「ひ
とすじの道」、楠公を詠ず、楠木正成・正行、大楠
公、和歌「かへらじと」吉野吟行の時を思い出し
ました。

閉会の辞、万歳三唱で幕。役員の方先生方お疲れ様
でした。

今、私の吟詠の時の本数は六本ですが、七本に戻
すように頑張ります。

楽しい一日有難う御座いました。

「関西90周年大会」

あげは教室 山本貴書

関西90周年の大会が10月29日(日) あまし
んアルカイックホールで賑々しく行われました。
立派な大会に参加出来てよかったです。いい思い
出になります。(とは言う)

ものあとの人生は余り残されてませんが)

物語の解説文に間違いがあるのがナレを聞いて
いて気になりました。時系列的にも変な箇所もあ
りましたね。

俳句朗詠は紹介された作者達が
ステージから

退場しないので、しかたなく残
ったままの状態で池田先生が朗
詠されました。ちよつと残念。

「かへらじと」は私の好きな和
歌です。それを池田先生が朗詠されました

正行の心情に思い
をよせて聴き入りました。



素晴らしい!!

長野先生とステージを眺めながら話をしてまし
た。池田先生の立ち姿はいつも本当に美しいね、
と。

構成吟での鷺見さんの劇的なナレーションは素
晴らしかったですね。講師になれますね。

90周年に携わった役員の方先生方本当に見事な大
会に仕上げして下さい有難う御座居ました。

「詩吟の大会」

わたしは、10月29日に、

詩吟の大会に出ました。会場では、たくさんの方がいました。みんな、スーツや、着物を着ていて、びっくりました。前の日にお家でたくさん練習をしたので、しっかりと歌えて嬉しかったです。

あげは教室 三谷優莉



「八木菖台名誉会長の旅立ち」

池田菖黎

10月25日 突然の訃報に言葉を失いました。哲菖会70周年の記念大会目前に：誰もが耳を疑ったと思います。

今回記念大会準備の初めの頃は、五年前の緊急入院で、65周年を病院で迎えられ、楽しみにされていたと思うと本当に残念でした。そして五年後の今年、大会を待たずに天国へ旅立たれました。哲菖先生を崇拝されておられた八木先生。家にも哲菖先生の遺品を沢山保管されておられたので、これからは哲菖会で、保管を考えないといけません。

そして、今年10月29日に総本部の90周年記念大会。

前日準備に被らない様に先生は逝かれました。最後の引際も、凄く八木先生。

今頃は、哲菖先生哲玲先生とお会いなさって沢山お話をされているでしょう。どうぞ安らかに眠り



下さい。これまでのご恩に感謝し70周年を會員一同で精一杯頑張ります。有難うございました
合掌

イベント報告

☆西部公民館文化祭 10月20日～23日

自主活動グループ「西奈良漢詩研究会」として自作の漢詩他の作品展示。

西部公民館5階第4講座室にて。

出展者：敬称略 大坪

梶田、亥子、内山、

山本、海保(特別参加)

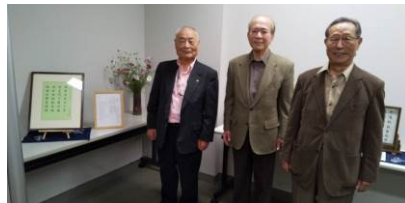
来室者延べ人数：47人

亥子先生の導線を考えたデ

イスプレ

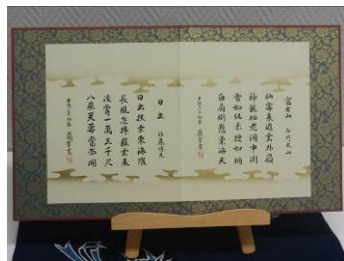
イがよか

つたです。



反省点Ⅱ西奈良漢詩教室とその母体である哲菖会の紹介チラシかパンフレットを来年は置く。

詩吟や漢詩に少し興味がある人を逃してしまった。



【十一月のお花】

花材

フウセントウワタ、スプレーマム

カーネーション、モカラ(黄ラン)

スプレーカーネーション

ガーベラ、ケイトウ

アンズリウム

廣瀬七重

(葉)
オリーブ、デイトリー(メラレウカ)



日本楽府で読む日本史

第六十四回は朝鮮出兵の際の小早川隆景についてです。江戸時代、儒者は朝鮮出兵を非難する人が多かった。二つの理由が考えられます。骨の髄までシナや朝鮮が好き、日本大嫌い今と同じ心情ですね。(無理もないです。勉強する学問は全てシナ伝来のものだから)

シナを聖人君主の国と崇め奉っていたのですよ。もう一つ大事な点は、秀吉は世界戦略を考えたのに、徳川は縮み型思考であったという事です。文化人類学で日本文化を縮み型と規定している朝鮮の学者がいます。ちよつとこのまま横道にそれます。

文化のありようの分類として有名なのが、罪の文化と恥の文化(ルース・ベネディクト女史の「菊と刀」)ですね。武者小路公秀氏は、選り型と合わせ型という分類をしています。それぞれ前者がヨーロッパ、後者が日本です。文化類型を言い出したらきりがないのでここで止めときます。

話戻して御用学者である儒者は徳川幕府におもねっているということです。林羅山などが典刑です。

朝鮮の役は、詳しくは徳富蘇峰を読んでください。朝鮮はシナを宗主国と仰ぎ、ぬくぬくと奴隷の平和で生きていました。なにせ国名までシナに頼んで与えてもらっているのですから。国防を忘れた今の我国の状態がまさに当時の朝鮮の状態です。宗主国の半ば義務として明が鴨緑江を渡って応援に来ます。我が軍を上回る大軍でしたが勝利し、講和の段取りとなります。しかし、時間稼ぎをされてたのです。我が軍は一旦京城まで撤退します。しかし、防守の為の籠城はせず、我が軍に有利な所を戦場として選んで打って出て大勝利します。殿軍となったのが小早川軍です。

第六十四関【碧蹄驛（へきていえき）】

平壤の城。碧蹄の驛。

明軍勝に乗じて席を捲くが如し。

一隊の尻尾万刀横はる。

人を斫ること草の如く刀に声あり。

鞍に抛りて海外頗使に供す。

老臂一たび攘うも聊か復爾り。

噫此の翁をして鼓旗を執らしめず。

両度都て乳臭児に付す。

大意

平壤城は破られた。踏みとどまるは碧蹄驛で。勝に乗じた明軍は席捲の勢いで押し寄せる。手ぐすね引いて殿軍の我が一隊の万刀閃く。人を斬ること草なぐように骨断つ刀の音響く。馬上豊かに異国にありて戦の采配自在。老名将の臂衰えず一たび払えばまずこのとおり。ああこの翁に鼓旗の総権与えもせず。文禄・慶長両役ともに総大将は青二才ども。

今月の絵 Humiyo 様



Humiyo

冬に枯れても、春になると芽吹いて秋に花を咲かせる宿根草シオン（紫苑）は、薄紫色の直径3cmほどの一重の花をたくさん集めて咲いています。

本格的な秋の気配を感じます

根や茎は、咳止め、痰の除去、利尿作用があり

中国では漢方としても栽培されているようですが、日本では専ら観賞用としてのみ栽培されています。

花言葉は、追憶 君を忘れない。

編集後記

○昇段試験が実施され初段から三段までの受験者が無事合格されました。御目出とう御座居ます。次に向けて一層の研鑽をして下さい。

○詩吟に限らず伝統芸の日本文化の継承者・担い手であるとの自覚をもつて教養を深めて下さい。

○西部公民館でイベントがあり、漢詩教室も作品展示をしました。廊下の壁面ではなくてちゃんと講座室を与えられました。絵やお花や音楽と比べると地味ですね。でも味わい深い！

○90周年も無事終わりました。良かったですね。関吟内での哲昌会の序列が4位から5位に下がってしまいました(月間報告)。我々も頑張ったのですが、他会派はもっと頑張ったという事です。会員獲得の知恵を出し合いましよう。

人ごとと考えずに!!

○文芸の寄稿欄は誰も寄稿者がなかったので作りませんでした。来月に期待します。

「記憶とは、活動したり、消すことのできない持続である」

ベルグソン (創造的進化)

☆ 貫

公益社団法人 関西吟詩文化協会

公認折賞会 ならやま支部

発行責任者 責任講師 池田葛梨

FAX&TEL

0742-33-3496

【遠足 (2) 汽車】

勝山隆男

「汽車のうに知ってるけど、ほんまの汽車見たいとない。」と言ったのを思いだした。こども達と相談して本当に動く汽車を見に行くことに決めた。

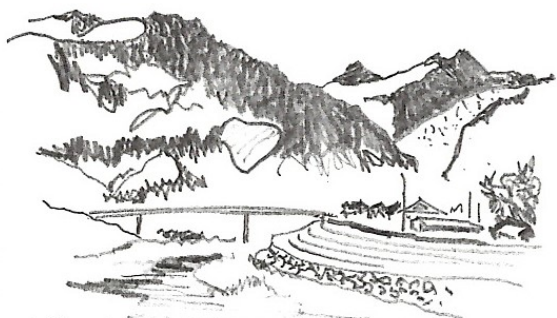
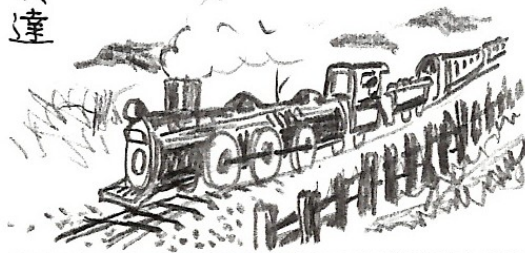
私たちの住む北桑田郡内には残念だが鉄道が通っていない、だから汽車が一番近くで見られるのは船井郡の日吉町にある殿田駅(現在日吉駅)である。宇津小学校からは12km位はあるだろう、それもく尾峠くおのとうげという大きな峠を越してのことである。余り人の通らない峠である、勿論私も通ったことのない道だ。

確かに四年生という学年にしては遠い遠足だとは思ったがこども達も本当の汽車を見る!!という一念でよく歩いてくれた。天若あまがらという所を越え世木村に出た、宇津村の風景と少しも変わらない。足をひきずりだしたころ殿田駅に近づいた。この町にはバスが通っている、道の西側は家いえが軒を並べて建っている、着板もあればお店もあった、町の中心部にかかっている橋を渡った所でやっと線路発見、その北側に駅らしき建物。こども達は興奮気味。

幸なことに櫓れの汽車、しかも機関車が煙をトロトロ出したまま大きなおおきな鉄の塊のような車輪

を休ませているではないか、これはこども達を歓迎して待っていてくれるかの如き光景である。線路と平行して汽車の枕木で作られた黒い柵がめぐらされている。

28名が歓声を挙げて走り出した、勿論私もある。息をはずませ、柵に手を掛けるかかけないかの時、全く同時に、甲高い大きな汽笛が「ピー」と一声。その強烈極まりなき音に、腰を抜かさんばかりに飛び上って驚ろいた。黒い柵にしがみつき、また両手で耳を押さえて地に伏したり、友達に抱きついたり、見事な光景を展開した。



(宇津村からみる一番低い所が標高20Mのく尾峠)

汽笛の凄い迫力を知った。機関車は横腹から白い蒸気を吹き出し、大きな車輪をゆっくり動かして、長い黒な列車を引きずり出した。ありがとう汽車君、幸な一瞬を体験させてくれて。この汽車、今は見たくても見られなくなった。